

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成26年度病害虫発生予察防除情報第9号

茶の炭疽病の防除対策について

これまでの降雨等により本病の発生が多くなっており、今後も多発する可能性があります。来年産の一番茶の母枝となる秋芽の充実を図るため、防除の徹底をお願いします。

記

1. 発生状況等

- (1) 8月下旬の巡回調査(16筆)における1㎡あたり発病葉数は18.5枚(平年2.7枚)、発生圃場率は93.8%(平年42.2%)で、発生が多い状況である(図1、2)。
- (2) 8月は曇りや雨の日が断続的にあり、降水量は平年に比べ多かった。
- (3) 気象予報(福岡管区气象台、平成26年8月28日発表)によると、向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または少ない見込みである。

2. 防除対策

- (1) 感染は新葉に限られるため、萌芽～4葉期頃に薬剤散布する。
- (2) 整枝後、秋芽が開葉し、既に感染が考えられる場合は、治療剤を散布する。
- (3) 薬剤耐性発達防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。
- (4) 薬剤散布にあたっては、使用基準を遵守する。

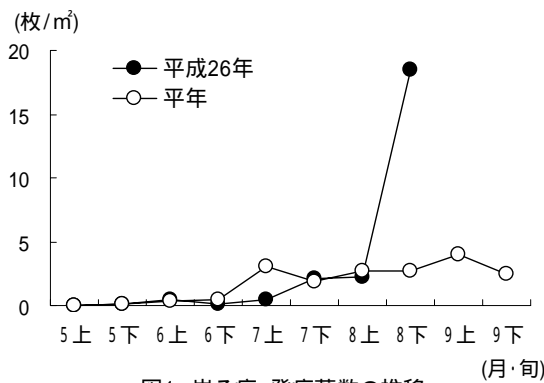


図1 炭そ病・発病葉数の推移

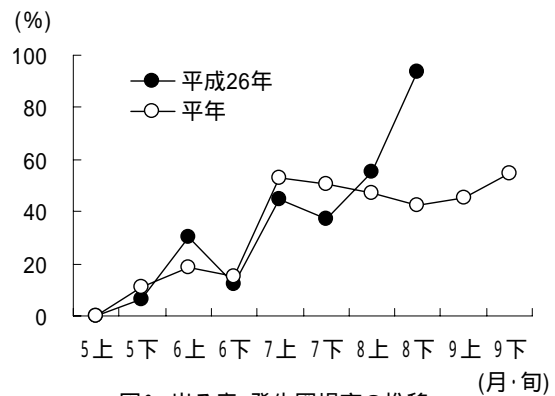


図2 炭そ病・発生圃場率の推移

6月1日から8月31日までの3ヶ月間を「農薬危害防止月間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027